

菱川 幸雄 技術士を偲んで



日本技術士会名誉会員の菱川幸雄技術士(建設部門)におかれましては、平成 26 年 4 月 20 日ご逝去されました。87 歳のご生涯でした。こころより哀悼の意を表します。

菱川幸雄技術士は、技術士会に長くそして多く貢献されています。私の知る限りであります、その一端をご紹介しますいただきます。

菱川幸雄技術士は、仙台工業専門学校(現東北大学に統合)卒業後、建設省東北地方建設局および北海道開発局に 22 年間勤務され、その後大手ゼネコンに定年まで勤務した後、建設コンサルタント会社に勤務されておられました。

技術士試験には、1970 年(昭和 45 年)に合格され、翌年に科学技術庁に登録して(社)日本技術士会会員になりました。1972 年(昭和 47 年)より当時の北海道技術士センターの理事として役員となられ、その後広報委員長などを長年にわたり努められています。また、(社)日本技術士会北海道支部会員の有志が集って工業技術研究会を設立し、技術の研鑽修得に励まれ、4 代目会長として約 10 年間、会の運営を指導されています。1984 年(昭和 59 年)には(社)日本技術士会会長表彰を受けられ、さらに 1998 年(平成 16 年)には名誉会員に推挙されています。

「技術士は、技術士試験に合格すればそれだけで良いというものでない。」「合格後も常に業務に関する知識の水準を向上させ、その他その資質の向上を図るように務めるということが必要だ」と言われ、継続教育の一環としての研修会、講演会、研究会、シンポジウム等に積極的に参加されていました。こ

日下部 祐 基

の他(社)日本技術士会全国大会にも数多く参加され、大学や高専への技術指導として講師も努められています。

私事になりますが、私が菱川さんに初めてお会いしたのは 1990 年(平成 2 年)の技術士試験に合格して、北海道開発局の技術士でつくる道路五月会という集まりに参加したときだったと思います。菱川さんは、私が 33 歳のときに亡くなった父親と同じお歳でした。そんなこともあって、技術士会の講演会などでお会いするたびに飲みに誘っていただきました。その時の話に、菱川さんは宮沢賢治のご親族で、小さいときに会っていると聴いて驚嘆したことを覚えています。

また、ある学会の札幌で開催された全国大会で私がセッションの座長をすることになり、菱川さんが見に来られことがありました。その時に、質疑の時間になって会場からの質問が足りなくなり、座長から菱川さんを指名してコメントを求めました。後で怒られるかなと思いましたが、菱川さんは時間が足りなくなるほどコメントされ、「楽しかったよ」と言われてホッとしたこともありました。

最近足が悪くなったといわれ、しばらくお会いしていなかったのですが、突然の訃報に驚いております。

最後に、菱川幸雄技術士のこれまでのご活躍に改めて敬意を表しますとともに、ご冥福をこころよりお祈り申し上げます。

日下部 祐 基(くさかべ ゆうき)

技術士(建設部門)

独立行政法人 寒地土木研究所